

◆◆◆教材の概要◆◆◆

主人公の裕介は、病気のために入退院を繰り返している。家族や友達、キミばあちゃんはそんな裕介を気にかけて心の底から心配している。しかし、皆の心配は裕介の悩みの解決にはならず、「親にも心配や迷惑ばかり掛けて心苦しいし、何のために生きているのかな、生きていても仕方ないのじゃないか」と漏らす。裕介の悩みの深さを知ったキミばあちゃんは、同じように憂い悩んだ広瀬淡窓を紹介する。本の話から裕介は、淡窓の生き方が医師倉重の一喝で変化したことを知る。また、淡窓の「万善簿」の実践から、病弱でも、否病弱なるが故に権藤生の死に黒丸を連ねる人間広瀬淡窓を通して、人間として精一杯生きることが大切であることを知る。

◆◆教材の活用◆◆

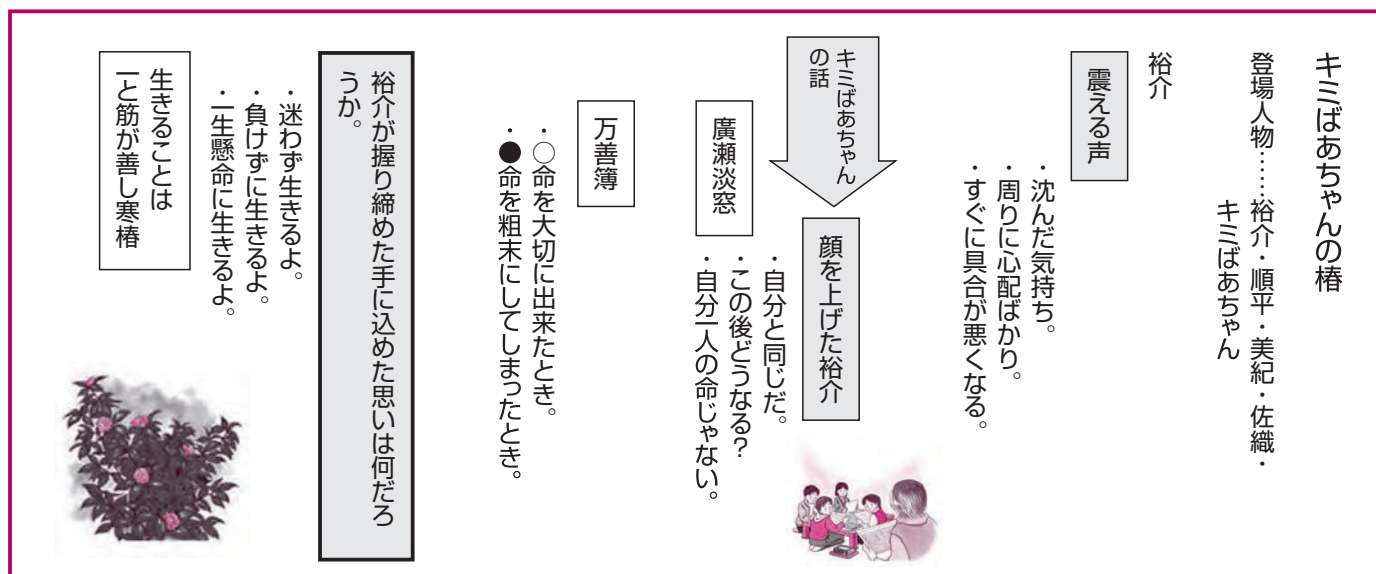
自己の生命の尊厳、尊さを深く考え、生きていることの有り難さに深く思いを寄せることは、自他の生命を尊重して生きることにつながると思う。

広瀬淡窓の生き方に深い感銘を受けて生きてきたキミばあちゃんの言葉から、「生きること」を考えさせられる裕介。医師倉重の淡窓への言葉から「命の連続性」、「万善簿」の話から「命の有限性」、そして、キミばあちゃんや友達とのやりとりから「命の偶然性」に気付かせたい。また、生徒たちに、裕介に自分を重ね、「生きること」について考えさせたい。

◆◆◆中心発問◆◆◆

裕介が握り締めた手に込めた思いは何だろう。

◆◆◆板書計画◆◆◆



◆◆◆道徳的価値“自他の生命の尊重”について◆◆◆

生命を尊ぶことは、かけがえない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直にこたえようとする心の現れといえる。生命の尊厳に気付かせ、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもたせる手がかりとして、自分が今ここにいることの不思議（偶然性）、生命にいつか終わりがあること（有限性）、生命はずっとつながっていること（連続性）を考えさせることが大切である。

◆◆◆学習指導案（本時のねらいと展開）◆◆◆

本時のねらい

病気を苦にしている裕介が、キミばあちゃんから広瀬淡窓の話聞き、沈んだ気持ちから脱していく。その道徳的变化を考えることを通して、生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする道徳的実践意欲を高める。

本時の展開

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	・教材について知る。		・教材への方向付けをする。
展開	・教材を黙読する。 ・裕介の沈んだ心情、自分の生命の価値も否定するまでに至った裕介の心情を理解する。 ・広瀬淡窓について知る。 ・話を聞き、自分の生き方、生命に思いをはせる裕介の思いを考える。 ・「生きることの意味」「生きること」を考え、自他の生命を尊重しようという意欲を高める。	裕介の震える声にはどんな思いが含まれているだろう。 ・一生病院暮らしかな。 ・入退院を繰り返すのは苦しい。 ・何のために生きているのか。 ・周りの心配が心苦しい。 顔を上げた祐介は、どんなことを考えていただろう。 ・自分と同じだ。 ・この後どうなったのだろう。 ・そうか、自分一人の命じゃないんだ。 ・心配してくれている家族や友達に申し訳ないことをしてきたんだ。 病弱な広瀬淡窓が万善簿をつけていたことを知ってどんなことを考えただろう。 ・自分が病気ののに人の生命を大切にするなんてすごい。 裕介が握り締めた手に込めた思いは何だろう。 ・負けずに生きるよ。 ・自分の生命を大切にするよ。 ・弱気になっていたけど、もう迷わずに生きていくよ。 ・気持ちをしっかりもって生きる生き方を大切にするよ。 ・ありがとう、頑張って生きるよ。	・話の筋が理解できるように範読する。 ・「あれ、祐ちゃんはいないのかい。」「すぐに裕介に調子はどうかと尋ねた。」を押さえることで、キミばあちゃんが心の底から心配していることを理解させる。 ・「親にも心配や迷惑ばかりかけて心苦しい。」の裕介の言葉から、自分の病気のことだけでなく友達や家族への負担に苦悩している心情を押さえる。 ・広瀬淡窓の話から、この人物の生き様に共感させたい。 ・キミばあちゃんの話（広瀬淡窓の話）を受け、変わっていく裕介の心情について深く考えさせたい。 ・広瀬淡窓のエピソードについて再度確認する。（生き様、万善簿） 補助発問： 「万善簿の白黒はどんなときにつけていたのだろうか。」 ・生命を大切にしたときが白丸。 ・生命を粗末にしたときが黒丸。 ・いかに生きていくかが、生命の尊重につながることを考えさせる。 ・キミばあちゃんへの感謝のみの答えには、補助発問として「どういうことに感謝しているのか。」などと問い、生き方について考えが及ぶようにする。 ・寒椿が冬に花を咲かせ健気に生き抜くものだとして説明し、本時の内容と重ね合わせる。
終末	・本時の学習を振り返り、出会った価値を深める。	テーマ作文 「私の人生を『生き抜くために』」	・価値をさらに深めるテーマ作文・発表を行い、考えたことを振り返る。 ・生徒に発表をさせて価値への気づきや自覚をさらに深めたい。

評価の視点（例）

- 他者の意見や話し合い活動を通して、かけがえのない自他の生命を尊重することについて考えを深め、その考えや思いを発言したり記述したりしている。